

国連で世界の諸問題と 日本を結ぶ

言葉の壁や国境を越えて活躍する日本人を紹介します。
今月は、日本の国連広報センター所長の根本かおるさんです。
テレビ局記者から難民支援まで、国境を越えたキャリアを
生かして取り組んでいるという、現在のお仕事の様子を伺いました。

text: Hayase Yamagishi photos: Ukyo Koreeda (p. 9上)

国連と日本をつなぐ 国連広報センター

第二次世界大戦後の1945年、国際的な平和維持と経済・社会などの国際協力のための国際機関として発足した国際連合 (United Nations)、通称「国連」。今年で創設70周年を迎える国連の加盟国は、現在、193カ国。アメリカのニューヨーク市に本部を置く。

東京都渋谷区にある「国連広報センター (UNIC)」は、その幅広い活動を日本に伝え、国際連合への関心を高めるための組織だ。英語で発行される資料の日本語版の作成、イベントやキャンペーンの企画・開催などを行っている。同センターで2013年から所長を務めているのが、根本かおるさんだ。

国連の活動範囲は、現存する国際組織の中でも、最も広範囲に及ぶ。



Director of
UNIC Tokyo
根本かおる
Kaoru Nemoto

FILE#92

Profile 根本かおる (ねもとかおる) : 神戸市生まれ。東京大学法学部を卒業後、テレビ朝日にてアナウンサー、報道記者として勤務。フルブライト奨学生として米国コロンビア大学国際関係論大学院で修士号取得。1996年から2011年末まで、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 職員として、トルコ、アフリカ・ブルンジ、コンゴ、ネパールなどで難民援助の最前線で支援活動に当たるとともに、UNHCR ジュネーブ本

部で政策立案や民間部門からの活動資金調達のとりまとめを行う。国連世界食糧計画 (WFP) 広報官、国連 UNHCR 協会事務局長も務めた。2012年よりジャーナリストとして、国内外の難民問題をはじめ、人権・人道問題について、幅広いメディアで発信。2013年より、国連広報センター所長。著書に『ブータン——「幸福な国」の不都合な真実』(河出書房新社)、『日本と出会った難民たち』(英治出版) ほか。



紛争下の性的暴力問題担当のザイナブ・ハワ・バングーラ国連事務総長特別代表が、2013年11月に訪日した際、駐日国連諸機関の代表らを招いて報告会が開かれた。